

# 大泉

## 新年明けまして おめでとーございませう

校長 中岡 盛一

皆様はどんな正月をお迎えになったでしょうか。本年も教職員一同一丸となつて、教育目標の具現化に向けて教育活動を進めてまいります。御協力と御理解の程、宜しくお願いいたします。

さて、昨年末持久走記録会を実施しました。その練習として持久走カードを全児童に配り休み時間に校庭を走りました。一周で一マス塗ります。カードがゴールまでいったら、私か副校長先生のサインか印をもらうことになっていきます。

校長室に次々と子供たちがやってきました。その中で気付いたことは、学年は関係なく、挨拶をしてカードにサインか印してもらいたい旨を伝える児童、黙ってカードを差し出す児童、話す友達の後ろにくっついてくる児童等、いろんな様子の子供たちがいることです。

そこで、私は時間はかかりますが、一人一人入室してもらい、やり取りをしながらサインすることにしました。「〇年〇組の〇〇〇〇です。カードが終わったのでサインをもらいに来ました。」「ありがとうございます。これを基本パターンにやり取りをしながらサインを行いました。じつと私の目を見ながら言う児童、目線を絶対に合わせない児童等様々でしたが、

<発行>  
練馬区立大泉小学校

<所在地>  
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144  
FAX 03-5387-2092



退室する時は全員満面の笑顔でした。表面的には言葉のキャッチボールですが、言葉のもつ人間的な温もりのあるコミュニケーションを通して、心のキャッチボールが出来ました。

こんなやり取りは私だけではなく他の先生もやっています。ALTのポール先生は給食を各学級でとっています。その時間になると学級の子供二、三人が職員室に来て教室まで御案内するのですが、彼は子供たちに声を掛けられるまでじつと待ちます。児童は何か伝えようと事前に覚えた英語で声掛けをして、一緒に給食を食べましょうと言います。毎回のこのやり取りに私たち教員もニンマリですが、伝わった嬉しさから子供たちの顔も笑顔になっていました。

日本経団連の調査によれば、企業が新規採用選考時に重視する要素として「コミュニケーション能力」がここ数年連続で上位に挙げられています。裏を返せば若者のコミュニケーション能力の不足を指摘していると思えます。学校ではコミュニケーション能力の育成の基礎として、子供たちにしつかり言葉で言わせる学習をしています。「先生、ノート!」「ノートがどうかしましたか?先生はノートではありません。こんなやり取りを教室で交わしながら日々指導しています。御家庭でも、毎日顔を合わせていますが、しつかり最後まで話させ説明させる練習をされると良いかと思えます。

### 1月の行事予定

- 7日(木) 冬季休業日終
- 8日(金) 冬休み後朝会
- 9日(土) 特別時程4時間授業  
安全指導・安全点検  
土曜授業日  
特別時程4時間授業  
薬物乱用防止講習会(6)
- 11日(月) 成人の日
- 12日(火) 給食始
- 13日(水) 身体計測(56)
- 14日(木) 身体計測(34)
- 15日(金) 委員会活動
- 16日(土) 社会科見学(5)
- 18日(月) 身体計測(1)
- 19日(火) 道徳授業地区公開講座
- 21日(木) クラブ活動
- 22日(金) 社会科見学(4)
- 23日(土) 24日(日) 練馬区連合書写展  
避難訓練
- 26日(火) クラブ活動
- 28日(木) 伝統工芸体験学習(4)
- 29日(金)

【お願い】  
欠席や遅刻する場合は、できる限り連絡帳でお知らせください。



### 《1月の生活目標》 「いとはづかいに 気をつけましょう」

学校では、基本的な生活習慣の定着を図るため、毎月生活目標を定めています。今月は『言葉づかいに気をつけましょう』を目標に、各クラスで取り組んでいきます。

言葉は、ほんの一言で人を喜ばせたり、励ましたりする大きな力をもっています。その反対に、人を悲しませたり、傷つけたりする力ももっています。だからこそ、どんな相手に対しても気持ちのよい言葉を話すことがとても大事になってくるのです。また、「思いやりの心」は優しい言葉づかいから育つのではないのでしょうか。

学校では、言われた時に温かい気持ちになる言葉を「ホカホカ言葉」、逆に言われた時にいやな気持ちになる言葉を「イガイガ言葉」として、日常的に意識づけるように指導をしています。各教室には、「大泉小10のルール」として掲示もしてあります。

気持ちのよい言葉を話すことは、自分の心を見がくことにつながると思います。新しい年を迎えた今、「優しく、気持ちのよい言葉づかい」について、ご家庭でも一緒に振り返っていただければと思います。

(野口美智子)

### 道徳授業地区公開講座

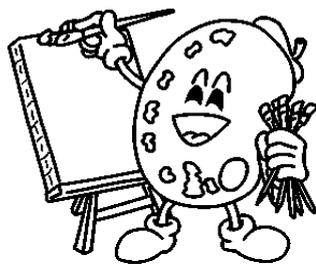
一月一九日に道徳授業地区公開講座を開催します。この講座は、道徳の授業を保護者や地域の方々に広く公開し、学校における道徳のあり方や家庭・地域社会との連携について、相互の理解を深めることをねらいとしています。学校における道徳教育は人が一生を通じて追求すべき人格形成の根底に関わるものであり、その目的は一人一人が自己の生き方の指針を持てるように支援することです。自己の生き方は、人から与えられるものではなく、生きてく過程で様々な体験や経験を通して、自己への問いかけ、迷いながらも自分にとって最善の指針を見つけていくものです。本校ではその役割を担うべく日々の教育活動を通して道徳教育に取り組んでいます。

当日、五校時の授業公開では「希望と勇氣」「努力と強い意志」のいずれかのテーマで授業を行います。授業をきっかけとして自分の夢や希望の達成、実現に向けて積極的に取り組むきっかけとなるように指導して参ります。また、六校時にはサッカーの元国際審判員の高田静夫さんの講演会も予定されています。「スマペンダ(頂上を目指そう)」のテーマで講演していただきます。FIFAワールドカップの舞台で審判として活躍された経験などを子供達にお話していただけると思います。是非当日は多数の保護者の皆様に参観していただきたいと思いますので、ご都合がよろしければお越しください。

(立田康徳)

### 練馬区連合図工展

一月十六日(土)～二十一日(木) (休館日一八日(月))の期間、中村橋にある練馬区立美術館2階展示室において練馬区小学校連合図工展が開催されます。「しなやかさと豊かさの造形へ」をテーマに区内全小学校の児童作品が広い展示会場にとろせましと展示されます。会場は児童が心をこめて一生懸命取り組んだ絵や立体、共同作品のみちあふれ、児童のエネルギーがいっぱいになります。



本校からも一年生から六年生、5組の児童の絵や立体作品、共同作品を出品予定です。また、たくさんさんの学校の特色を生かしたテーマや表現の違いも見所の一つです。各校の力作もご鑑賞頂き「豊かな子どもの世界」を堪能し、美術館を楽しくて頂ければと思います。

(和久井智洋)

### 書きぞめ展

書きぞめは、新年の目標を仕事始めの二日に書き、気持ちを新たに一年を迎えるということが由来の、伝統行事です。学校でも冬休みに練習をし、年が明けたら一、二年生は硬筆、三年生以上は毛筆で書写をします。

今年には教科書の改訂に伴い、書く文字が変わりました。三年生「美しい心」、四年生「流れる星」、五年生「進む勇氣」、六年生「新たな決意」です。一、二年生の硬筆についても字形に気を付けて書くような文章になりました。全学年共通目標の「文字を、正しく整えて書く」を目指して、姿勢や筆・鉛筆の持ち方、文字の中心、止め・ね・払い・折れ・結び、筆順など指導をしていきます。各学年のめあてもそれぞれあるので、意識を高めて取り組みます。

本校では一月十二日(火)から一月二十二日(金)まで校内書きぞめ展を開きます。各教室の廊下に展示をします。道徳授業地区公開講座などご来校の折などにぜひご鑑賞いただき、子どもたちに励ましの言葉をかけていただくと励みになると思います。

また各学年の代表児童の作品を出品する連合書きぞめ展が、一月二十三日(土)と二十四日(日)に、練馬区立美術館で開催されます。ぜひお出掛けください。

(波江野 礼子)

### 一年生の様子

入学してから九ヶ月が過ぎました。六年生にお世話してもらっていた子供達も、今では自分たちで様々なことができるようになりました。給食当番や掃除当番、日直、係の仕事などをてきぱきとこなす姿には大きな成長を感じます。

これまでの間、日々の学習や生活と共に、運動会や学芸会といった大きな行事を経験し「素敵なチーム一年生」を合い言葉に、一人一人が力を出し切ることができるよう、取り組んできました。保護者の方々のご協力もあり、一つ一つのことがしっかりと子供達の心に残り、糧になっているように思います。

先日までの持久走の間では、初めての活動ながら、自分の目標を決めて懸命に走る姿が見られました。記録会で堂々と走り、ゴールしたときの清々しい表情からは、毎日の積み重ねが自信につながることを感じました。そして今は、上級生の背中を追いながら、縄跳びの技の習得に向けて練習に励んでいます。

上校庭の花壇にチューリップの球根を植えました。花が咲く頃には、二年生です。これまで培ってきた力をさらに伸ばし、意欲と自信をもって進級できるように進めて参ります。引き続きチーム一年生を応援してください。

(林 志織)